

基本目標Ⅱ 男女のエンパワーメントへの支援

重点課題1 エンパワーメントの機会の確保

【目標に対しての評価】 A・・・実施しており、成果をあげている B・・・実施しており、一定の成果をあげているが、課題も多い C・・・実施できなかった

施策の方向	具体的施策	施策対象者	担当課	平成30年度目標	評価	平成30年度実施内容(数値、改善点、方向性)	令和1年度目標	令和1年度機構改革等による担当課
1.子どもの生きる力を育むための支援	①暴力防止プログラム(CAP)による学習機会の提供	学校	学校教育課	実施校が増えるよう、各学校における暴力防止プログラム(CAP)の実施を継続して促す。	C	各学校における保護者教室等のプログラムの一つとして実施を促したが、実施することができなかった。	1校分の予算を配当し、実施する予定としている。	
	②性別にとらわれない進路指導の徹底	学校	学校教育課	職場体験活動等、全中学校でキャリア教育を実施し、性別等に問わず生徒の特性や希望に基づき、その能力が十分に発揮できるよう進路指導の充実を図る。	A	3日間の職場体験活動等、全中学校でキャリア教育を実施し、性別等に問わず生徒の特性や希望に基づき、その能力が十分に発揮できるよう進路指導の充実を図った。	職場体験活動等、全中学校でキャリア教育を実施し、性別等に問わず生徒の特性や希望に基づき、その能力が十分に発揮できるよう進路指導の充実を図る。	
2.男女のエンパワーメントの促進	①すべての男女が力を引き出し育むためのエンパワーメント講座の開設	市民	生涯学習課	エンパワーメントの要素を持つことを意識化し、幅広い対象となるよう講座、セミナーを開催する	B	・地域支援者養成講座(年3回、のべ80名参加) ・子育て講座(年1回、72名参加)	エンパワーメントの要素を持つことを意識化し、幅広い対象となるよう講座、セミナーを開催する	
			人権・男女共同推進室	・男女共同参画講座(ワークライフバランス講演会、女性起業家研修会)を開催する。	B	・男女共同参画講座として、ワークライフバランス講演会「仕事と介護の両立を目指すワークライフバランスの推進」(22名参加)、女性起業家研修「夢をか叶える習慣～私が実践している9つのメンタルレッスン～」(12名参加)、男女共同参画研修「女性と防災・減災セミナー～今日から始める減災生活」(21名参加)を開催した。	・男女共同参画講座を開催する。 ・より多くの人に参加してもらえよう、講座開催の周知を行う。	
			中央公民館	引き続き「橋本市民大学いきいき学園」、「ふるさと再見市民講座」を開催する。	C	「橋本市民大学いきいき学園」(月1回)を開催し、政治、経済、社会、文化などについて学んだ。 郷土の歴史について学ぶ「ふるさと再見市民講座」(年10回)を開催している。エンパワメントを目的とした講座の開設はできなかった。	未定	
			紀見地区公民館	さらなるエンパワーメントのために、学んだ事柄を活かせる機会を提供する。	A	『紀見茶論・地元学講座(50～80歳代・全13回、890名)』『人権講演会(一般153名)』『サークル発表会(幼児～高齢者・220名)』『地元の達人講座(20～70歳代・全2回、35名)』『保護者の交流場である出前講座』4校交流会(20～40歳代・全10回125名)』、子ども対象の事業『こどもルーム(幼児～小学生・全8回386名)』乳幼児親子対象事業『子育て親育ち講座(乳児～40歳代・全4回174名)』などを実施した。	さらなるエンパワーメントのために、学んだ事柄を活かせる機会を提供する。	
			紀見北地区公民館	『紀見茶論・地元学講座』『人権講演会』『郷土料理教室』『サークル発表会』『地元の達人講座』保護者の交流場である出前講座、子ども対象の事業『こどもルーム(幼児～小学生)』乳幼児親子対象事業『子育て親育ち講座(乳児～40歳代)』などを実施する。新規に「サークル発表会」を計画している。	A	男女を問わず、学びの支援として「料理教室for ビギナーズ」(全11回 174名)、「きみきた塾」(全7回 136名)、「人権講演会」(全2回 139名)、「かんたん押絵教室」(全5回 60名)等を実施。児童生徒対象事業として、夏休みに「体験を中心とした事業」(全10回 182名)を実施。乳幼児親子対象事業として、「フレッシュママ交流会」(全6回 132名)、「命を育む授業」(全2回 137名)等を実施した。	継続実施する。	
			恋野地区公民館	〈乳幼児親子〉応急手当講習会、親子ヨガ教室〈児童〉夏休み子ども教室やおやつ作り、茶道体験〈成人〉料理教室、防災ベストと新聞スリッパ作り、ホウ酸だんご作り他もの作り教室〈人権教育のための講演会〉を開催する。	B	〈乳幼児親子〉応急手当講習会〈児童〉夏休み子ども教室やおやつ作り、茶道体験〈成人〉料理教室、お掃除スリッパ作り他もの作りや体験教室〈人権教育のための講演会(112名)〉を開催	継続実施する。	
			学文路地区公民館	総合文化祭・カフェマルシェ、暮らしの歳時記事業(郷土料理講習会・味噌作り講習会・お正月花講習会等)を行う。	A	総合文化祭・カフェマルシェ(525名/2日間) 暮らしの歳時記事業(郷土料理講習会・味噌作り講習会・盆踊り講習会等)(180名/8回) 人権講演会(77名/1回) 運営委員視察研修(16名/1回) 世代を超えた方の参加あり。	新館への移転を控えているため、引越し作業等で実施出来ない事業が出てくる可能性あり。出来る範囲で継続して各事業を実施。	
			隅田地区公民館	介護教室実行委員会の事業として『介護施設視察研修会・介護予防教室・音楽療法体験会・料理講習会・三世代交流会』を実施する。乳幼児学級実行委員会の事業として『いのちを育む授業(中1との交流会)・親子夏まつり』を実施する。	A	介護教室実行委員会の事業として『介護施設視察研修会・介護予防教室・健康講座・健康体操・料理講習会・三世代交流会』を実施。役員さんの地域での声かけにより、参加者が増えている。 乳幼児学級実行委員会の事業として『いのちを育む授業(中1との交流会)・親子夏まつり・ミニミニ運動会』を実施。各事業の実施にあたっては、実行委員会の会員が中心になり、地域の協力を得ている。各事業の参加者も隅田管内以外からの参加者も増えてきている。	継続して各事業を実施する。	
			橋本地区公民館	引き続き子育て中の親子の交流の場として「乳幼児親子学級」を実施する。	B	子育て中の親子の交流の場として「乳幼児親子学級」を実施。年間38回553名の親子の参加があった。	参加している親子が何を求めているかを調べ、事業を企画、実施。	
			山田地区公民館	引き続き「テクテク散歩会」「おとなの遊び塾」「グルメ倶楽部」事業を実施していく。	B	「テクテク散歩会」はマイクロバスを使用する場合は募集人数を上回り抽選となる場合もあるが、交通機関や徒歩の場合は参加者が少ない。年に7回実施し延べ83名の参加がある。グルメ倶楽部は健康をテーマに調理実習を行っている。年10回実施延べ94名の参加がある。男性の参加も促しているが結果は出なかった。	継続して実施。	
高野口地区公民館	今年度は、応其小学校・高野口小学校・信太小学校と共催で実施。人権啓発推進委員会とも連携して人権講演会などを開催し、幅広い年代で人権意識を高めていきたい。	A	「チョッちゃん物語」(H30.11/6 火 実施)を、高野口・信太・応其小学校及び、人権啓発推進委員会との共催で実施。112人が参加した。激動の時代を、逞しく生きてきた、元氣ママ「チョッちゃん」と娘「トット」ちゃんがあなたに贈る家族の愛の物語の映画を上映した。	今年度は、高野口中学校と共催で実施予定。(8/7)人権推進委員会と連携して、人権後援会等を実施。幅広い年代で人権意識を高めて生きたい。				

施策の方向	具体的施策	施策対象者	担当課	平成30年度目標	評価	平成30年度実施内容(数値、改善点、方向性)	令和1年度目標	令和1年度機構改革等による担当課
2.男女のエンパワーメントの促進	②悪質商法等による消費者被害や多重債務の防止支援	市民	生活環境課	消費生活相談事業、消費者啓発・教育事業、情報発信事業を実施する。	A	出前講座(自主・委託)21会場で実施し、延594人に対し啓発を行った。多重債務相談は専門家と連携し実施した。学校現場での消費者教育を実施した。	消費生活相談事業、消費者啓発・教育事業、情報発信事業を実施する。	市民課
	③農林業従事者への生産・技術向上のための初心者研修の充実	農林業従事者	農林振興課	新規就農希望者に対し、青年等就農給付金及び資金の紹介を行う。また、市独自の講習会等啓発を積極的に行い、農業技術の向上に努める。	A	農業技術の習得に関し、市に問い合わせがあった場合、JAや県就農支援センターが実施する農業塾等の紹介を行い、農業技術の習得に関する情報提供を行った。また、市独自で日中仕事で講習を受けられない方を対象に「働く人のための野菜づくり講習会」を実施(10名参加)し、農業技術の向上に努めた。	新規就農希望者に対し、農業次世代人材投資資金及び借入資金の紹介を行う。また、市独自の講習会等啓発を積極的に行い、農業技術の向上に努める。	
	④各種職業能力の開発、資格取得、経営能力向上に関する情報の提供及び研修会の実施	市民	シティセールス推進課	・資格取得試験実施の情報パンフレットを配布及び市ホームページへの掲載を行う。 ・橋本商工会議所、高野口町商工会にて経営知識向上の研修会を行う ・創業予定者を対象に、財務・経営・人材・販路開拓について、講師を招き、創業セミナーを開催する。 ・職業訓練セミナー開催情報等を市ホームページに掲載し広報を行う。	A	・資格取得試験実施の情報パンフレットを配布及び市ホームページへの掲載を行った。 ・橋本商工会議所、高野口町商工会にて経営知識向上の研修会を行った。 ・創業予定者を対象に、財務・経営・人材・販路開拓について、講師を招き、創業セミナーを開催した。 ・職業訓練セミナー開催情報等を市ホームページに掲載し広報を行った。	・継続実施する	
	⑤女性の起業への支援	女性市民	シティセールス推進課	・関係リーフレットを配布した。 ・創業予定者を対象に、財務・経営・人材・販路開拓について、講師を招き、創業セミナーを開催する。 ・創業者を支援するために橋本市創業促進事業補助金制度等を施行する。	A	・関係リーフレットを配布した。 ・創業予定者を対象に、財務・経営・人材・販路開拓について、講師を招き、創業セミナーを開催した。(8コマ、延べ32名参加) ・創業者を支援するために橋本市創業促進事業補助金制度等を施行している。	・継続実施する。	
3.若者・中高年男性の自立への支援	①若者・中高年男性の自立への支援	市民	福祉課・健康課	(福祉課) 生活保護受給者について、引き続き就労支援を行っていく。生活困窮者について、自立支援制度を引き続き継続し、就労準備支援事業を1回/月のペースで開催する。家計相談事業について、自立相談支援事業を併せて実施できるよう準備を進める。(健康課) ・若年健診を年内に1回実施する予定	A	(福祉課) 生活保護受給者のうち、就労を希望する者や就労可能な状態の者に対して就労支援を行った。 生活困窮者については、積極的に自立支援制度の利用を促した。就労準備支援事業を毎月開催した。(健康課) ・12月に若年者健診(満19才～39才対象)を実施し、88名の受診があった。 運動、飲酒、歯科の啓発を行った。	(福祉課) 生活保護受給者について、引き続き就労支援を行っていく。生活困窮者について、自立支援制度を引き続き継続し、就労準備支援事業を1回/月の頻度で開催する。家計相談事業について、自立相談支援事業を併せて実施できるよう準備を進める。(健康課) ・年内に1回実施予定	健康課→いきいき健康課
4.高齢者・障がい者の自立への支援	①高齢者等の自立に向けての学習会等の開催	市民	いきいき長寿課	市老人クラブ連合会とも連携し、介護予防教室の開催を呼びかけていく。介護予防教室実施メニューに「たすけあいの地域づくり」など新たなメニューを増やしニーズに対応していく。	A	介護予防教室の未実施老人クラブやふれあいサロンに出向き介護予防教室を実施し、活動の活性化に取り組んだ。(58団体(新規7団体) 101回 のべ2090名)	いきいき百歳体操教室など新たなメニューを増やし、更なる介護予防教室の充実をめざす。	いきいき健康課
			福祉課	引き続き開催予定等市広報やホームページへ掲載し、事業を実施する。	A	障がい者団体に委託して、障がい児者にあった様々なレクリエーション事業(スポーツ教室、料理教室、料理教室)を実施した。	引き続き開催予定等市広報やホームページへ掲載し、事業を実施する。	
			中央公民館	引き続き、役員会・クラス会で集約した意見に基づいた事業の実施。	A	市民大学では、地域社会のことを学びたいという参加者の意見を踏まえ、講義内容に積極的に取り入れた。また、定期的に役員会・クラス会を開き、参加者が主体的に運営に参加した。	引き続き、役員会・クラス会で集約した意見に基づいた事業の実施を目指す。	
			紀見地区公民館	事業の中で、高齢者が活躍できる場を広げてもらえるよう配慮する。	B	高齢者の生きがい作り、健康作り、学びの場の提供のために、60～90歳対象『GG交流会(92名)』『カラオケ大会(66名)』『紀見茶論・地元学講座(50～80歳代・全13回890名)』を実施。また、毎月、高齢者の交流会を行っているサロン【語ろう会】がある。	事業の中で、高齢者が活躍できる場を広げてもらえるよう配慮する。	
			紀見北地区公民館	健康で、生きがいを持って年齢を重ねることを目的として、「グラウンドゴルフ大会」、「ピアノで歌謡曲」「きみきた塾」等々を実施する。	A	健康で、生きがいを持って年齢を重ねることを目的として、「グラウンドゴルフ大会」(71名)、「ピアノで歌謡曲」(全12回 664名)、「きみきた塾」(全7回 136名)、バス研修(44名)等々を実施した。	継続実施する。	
			恋野地区公民館	GG大会は年2回、バス研修などを開催する。	A	GG大会は年2回(38名)、ヨガ体験、バス研修などを開催。ニュースポーツや文化財の歴史にふれ、自然と親しむことで心身ともに健康維持が出来る事業を開催	継続実施する。	
			学文路地区公民館	グラウンドゴルフ大会、歩き方教室 物づくり体験教室(編み物・寄せ植え等)を実施する。	A	グラウンドゴルフ大会(80名/2回) 物づくり体験教室(編み物・こけ玉作り・寄せ植え等)(59名/6回)	新館への移転を控えているため、引越し作業等で実施出来ない事業が出てくる可能性あり。出来る範囲で継続して各事業を実施。	

施策の方向	具体的施策	施策対象者	担当課	平成30年度目標	評価	平成30年度実施内容(数値、改善点、方向性)	令和1年度目標	令和1年度機構改革等による担当課
4.高齢者・障がい者の自立への支援	①高齢者等の自立に向けての学習会等の開催	市民	隅田地区公民館	健康寿命を延ばすために取り組んでいる『介護教室料理講習会・介護予防教室・懐メロ歌合戦』を継続して実施。その中の介護予防教室はメニューを毎年変えて実施する。	A	健康寿命を延ばすために取り組んでいる『介護教室料理講習会・介護予防教室・懐メロ歌合戦』は継続して実施。その中で介護予防教室はメニューを毎年変えて実施している。今年度は『めざそう健康寿命』をテーマに講演会を行った。	継続して各事業を実施する。	
			橋本地区公民館	誰もが老後に不安を持つ少子高齢化の今、健康で安全な・安心な生活を送るためにまた、楽しく＆美しく歳を重ねることに役立てるために事業を実施。高齢者の健康増進のための「講義」と「実技」の「健康一番体操」、日本の味、郷土の味を伝承していくのを目的とした「日本の味伝承講座」を実施する。	B	高齢者の健康増進のため講義と実践を取り入れた事業「健康一番体操」を実施。(年12回のべ130名)	高齢者の方に向けた健康料理教室等を企画、実施。	
			山田地区公民館	毎月2回実施している「古典に親しむ会」は年2回の現地研修を実施する。	A	毎月2回実施している「古典に親しむ会」は年2回の現地研修も行っているが、延べ385人が参加。現地学習は、奈良・京都方面へ行った。	継続して実施。	
			高野口地区公民館	「健康テクテクウォーキング」を行い、高野口を歩きながら健康増進を図り、又地域の歴史についても学ぶ。(シリーズ)	A	「昭和を語る・学ぶ」(1/8実施)。高野口町の昭和を写真や映像を通して振り返り学習した。小学生・一般あわせて115名の参加があった。	「テクテクウォーキング」を行い、高野口を歩きながら健康増進を図り、又地域の歴史についても学ぶ。(シリーズ)	
5.ひとり親家庭への支援	①社会保障制度の拡充の要請 ②給付制度の充実 ③相談体制の充実	ひとり親家庭	こども課	ハローワークや市社協との連携も必要のため、情報の共有の機会を持つ。	A	・県作成のパンフレットを活用し、児童扶養手当現況手続きの際、情報の提供を行った。 ・就労支援については、児童扶養手当現況時に、ハローワーク職員の相談窓口を設置。	・ハローワークや市社協との連携も必要のため、情報の共有の機会を持つ。 ・就労支援について、引き続き児童扶養手当現況時に相談窓口を設置。	
			こども課	手当、給付制度など相談に応じ、引き続き支援を行う。	A	個々の相談に応じ、引き続き支援を行った。	手当、給付制度など相談に応じ、引き続き支援を行う。	
			こども課	手当ての相談の機会を捉え、必要な関係機関に情報を伝え、支援に繋げていく。	A	手当ての相談の機会を捉え、必要な関係機関に情報を伝え、支援につなげた。	継続実施	
6.外国人の自立への支援	①生活案内パンフレットの作成 ②相談体制の整備	外国籍市民	政策企画室	引き続き県等よりパンフレット等の配布があった場合は、配布等を行っている。	B	県より配布のあったパンフレットなどを各担当課を通じて配布を行った。	引き続き、県等よりパンフレット等の配布があった場合は、配布等を行っていく。	
		外国籍市民	政策企画室	相談窓口の確保や相談手段の検討を行う。	B	多言語タブレットのテスト導入	引き続き、相談窓口の確保や相談手段の検討を行う。	

重点課題2 グループ・ネットワークづくり

施策の方向	具体的施策	施策対象者	担当課	平成30年度目標	評価	平成30年度実施内容(数値、改善点、方向性)	令和1年度目標	令和1年度機構改革等による担当課
1.互いに力を高め合うグループづくり	①共通の問題・課題を抱える個人のグループづくりや既存グループへの支援	市民	こども課	引き続き、子育て世代包括支援センターとの連携を重点的に、各子育て支援センター同士の情報共有等を図る。	A	・子育て支援センター(6カ所運営委託)事業において、子育てに関する悩みなどを相談出来る仲間づくりに寄与した。 ・子育てセンター指導員の研修会の実施。	センターが6カ所から7カ所に増え、情報交換等連携を図る。引き続き、子育て世代包括支援センターとの連携を重点的に、各支援センター同士の情報共有等を図る。	
			健康課	引き続き年1回、乳がん患者会と連携し、乳がん検診受診勧奨を実施予定。	A	乳がん患者会と連携し、乳がん検診の必要性をPRするため、ティッシュをスーパー前で配布し、乳がん検診受診勧奨を実施した。	引き続き年1回、乳がん患者会と連携し、乳がん検診受診勧奨を実施予定。	いきいき健康課
			いきいき長寿課	介護予防事業として、高齢者グループの支援を行う。げんきらりー教室(筋力向上トレーニング自主運営教室)、ふれあいサロン事業への継続的な関わりを行い、介護予防啓発を通して、個々の相談等がしやすい環境づくりを継続的に目指していく。	A	介護予防事業として、高齢者グループの支援を行った。げんきらりー教室(筋力向上トレーニング自主運営教室)、ふれあいサロン事業、いきいき百歳体操への継続的な関わりを行い介護予防啓発を通して、個々の相談等がしやすい環境づくりを継続的に目指した。特にいつまでも元気で地域の中で自立し生活していくためとして、筋力向上トレーニング、認知症啓発等について市の取組状況を報告しながら、自らできることを意見交換してもらう機会をつくった。	継続実施する。	いきいき健康課
			福祉課	ひきこもり支援検討会により、ひきこもり者やその家族に対する支援について検討を進める。継続して、ひきこもり支援団体を支援する。	A	関係機関と実施している実務者会議を定期開催し、関係機関との情報共有・検討を行った。	ひきこもり支援検討会により、ひきこもり者やその家族に対する支援について検討を進める。継続して、ひきこもり支援団体を支援する。	
2.支援ネットワークづくり	①支援する人材や市民活動団体等のネットワークづくり	市民 NPO団体等	政策企画室	市民活動サポートセンター事業((社福)橋本市社会福祉協議会による指定管理)	A	市民活動サポートセンター事業((社福)橋本市社会福祉協議会による指定管理)	市民活動サポートセンター事業((社福)橋本市社会福祉協議会による指定管理)	

重点課題3 エンパワーメントにつなぐ相談窓口・情報提供の充実

施策の方向	具体的施策	施策対象者	担当課	平成30年度目標	評価	平成30年度実施内容(数値、改善点、方向性)	令和1年度目標	令和1年度機構改革等による担当課
1.相談窓口・情報提供の充実	①女性のための相談窓口の整備・充実	女性市民	人権・男女共同推進室	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き女性電話相談を実施する。 相談員のスキルアップを図る。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度より開設した女性電話相談を引き続き実施。(相談件数:87件) 相談員のスキルアップのための、事例検討会を実施した。(12回) 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き女性電話相談を実施する。 相談窓口の周知を図る 相談員のスキルアップを図る。 	
	②各種相談窓口の充実と連携	市民	市民課・人権・男女共同推進室・福祉課・健康課・いきいき長寿課・介護保険課・学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> (市民課) 年度当初に支援措置説明会を開催。(人権・男女共同推進室) 関係各課や関係団体のやっている事業の情報収集し、紹介を行う。 (福祉課) 引き続き情報交換、連携を取りながら各種相談業務を行う。(健康課) ○子育て世代包括支援センターのちらし、パンフレットを幅広く配布し、各地区公民館や医療機関など、市民が利用する所にポスターを掲示してもらう。 (こども課) 継続実施(いきいき長寿課) 継続実施する。(介護保険課) 引き続き、他部署と連携も図りながら、懇切丁寧な窓口対応を心掛ける。(学校教育課) 相談関係機関と定期的に会を持ち対応の充実に努める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> (市民課) 年度当初に関係各課を集め、支援措置説明会を開催し、連携に努めた。(人権・男女共同推進室) 関係各課と連携を図りながら、室において相談業務を実施した。 女性電話相談を開設し、悩みを抱える女性の相談に対応した。(相談件数:87件) (福祉課) 各種相談窓口(橋本・伊都障がい者相談支援センター、伊都障がい者就業・生活支援センター、地域包括支援センター、子育て世代包括支援センター等)と情報交換、連携を取りながら業務を行った。(健康課) 平成29年4月に子育て世代包括支援センターが開所されて以降、色々な関係団体や、部署へPRにいたり、啓発を行なっている。 (こども課) 課内各係担当者および実務者等の連携を深めるとともに、お互いの情報の共有を図った。 (いきいき長寿課) 家庭訪問、窓口相談、電話相談等を行った。また相談窓口として、まず当課へ相談に来られたら必要に応じて該当する課への案内等を行った。 (介護保険課) 当課における窓口対応は高齢者の方が主となるため、常にきめ細かな対応を心掛けた。 	<ul style="list-style-type: none"> (市民課) 引き続き、支援措置制度に対する理解を深め被害者保護のため適切な対応がとれるよう関係各課にも周知する。(人権・男女共同推進室) 関係各課や関係団体のやっている事業の情報を収集し、紹介を行う。 (福祉課) 引き続き情報交換、連携を取りながら各種相談業務を行う。(健康課) 子育て世代包括支援センターのちらし、パンフレットを幅広く配布し、各地区公民館や医療機関など、市民が利用する所にポスターを掲示してもらう。 (こども課) 継続実施(いきいき長寿課)→(H31年度よりいきいき健康課) 継続実施する(介護保険課) 引き続き、他部署と連携も図りながら、懇切丁寧な窓口対応を心掛ける。(学校教育課) 相談関係機関と定期的に会を持ち対応の充実に努める。 	いきいき長寿課→いきいき健康課 健康課→子育て世代包括支援センター